

令和5年9月遠野市議会定例会会議録（第4号）

令和5年9月6日（水曜日）

議事日程 第4号

令和5年9月6日（水曜日）午前10時開議
第1 一般質問

本日の会議に付した事件

- 1 日程第1 一般質問（佐々木恵美子議員）
- 2 散 会

出席議員（16名）

| | | | |
|----|---|---------|---|
| 1 | 番 | 千 田 由美子 | 君 |
| 2 | 番 | 菊 池 美 之 | 君 |
| 3 | 番 | 菊 池 忠 信 | 君 |
| 4 | 番 | 昆 明 美 | 君 |
| 5 | 番 | 宮 田 勝 美 | 君 |
| 6 | 番 | 小 松 正 真 | 君 |
| 7 | 番 | 佐々木 恵美子 | 君 |
| 8 | 番 | 菊 池 浩 士 | 君 |
| 9 | 番 | 佐々木 敦 緒 | 君 |
| 10 | 番 | 小 林 立 栄 | 君 |
| 11 | 番 | 菊 池 美 也 | 君 |
| 13 | 番 | 菊 池 由紀夫 | 君 |
| 14 | 番 | 佐々木 大三郎 | 君 |
| 15 | 番 | 新 田 勝 見 | 君 |
| 16 | 番 | 荒 川 栄 悦 | 君 |
| 17 | 番 | 多 田 勉 | 君 |

欠席議員（1名）

| | | | |
|----|---|---------|---|
| 12 | 番 | 瀧 本 孝 一 | 君 |
|----|---|---------|---|

事務局職員出席者

| | | |
|---------|---------|---|
| 事 務 局 長 | 奥 寺 国 博 | 君 |
| 主 査 | 朝 倉 宏 孝 | 君 |

説明のため出席した者

| | | |
|-----|---------|---|
| 市 長 | 多 田 一 彦 | 君 |
|-----|---------|---|

| | | |
|------------------------------|---------|---|
| 副 市 長 | 鈴 木 惣 喜 | 君 |
| 総務企画部長 | 鈴 木 英 呂 | 君 |
| 健康福祉部長兼健康福祉の里所長兼地域包括支援センター所長 | 菊 池 寿 | 君 |
| 産 業 部 長 | 阿 部 順 郎 | 君 |
| 環境整備部長 | 村 上 明 洋 | 君 |
| 会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長 | 新 田 順 子 | 君 |
| 消防本部消防長 | 千 田 一 志 | 君 |
| 市民センター所長 | 海 老 寿 子 | 君 |
| 教 育 長 | 佐々木 一 人 | 君 |
| 教育委員会事務局教育部長 | 伊 藤 貴 行 | 君 |
| 選挙管理委員会委員長 | 菅 沼 隆 子 | 君 |
| 代表監査委員 | 多 田 博 子 | 君 |
| 農業委員会会長 | 千 葉 勝 義 | 君 |

午前10時00分 開議

○議長（多田勉君） おはようございます。
本日も議場内暑い方は、上着を脱いで出席をしても構いませんので、よろしくお願ひいたします。

これより本日の会議を開きます。

本日の欠席の届出議員は、12番瀧本孝一議員であります。

これより本日の議事日程に入ります。

日程第1 一般質問

○議長（多田勉君） 日程第1、一般質問を行います。

本日は、2名の一般質問の通告がありましたが、瀧本孝一議員から欠席届が提出されたため、会議規則第51条第4項の規定に基づき瀧本議員の一般質問は行いません。

それでは、順次質問を許します。7番佐々木恵美子議員。

〔7番佐々木恵美子君登壇〕

○7番（佐々木恵美子君） おはようございます。佐々木恵美子です。

私は、子育て中の世帯、また今後、子育てを始める次世代の方々の不安軽減を目的とし、

遠野市の子育て支援の現状と今後について伺ってまいります。

0歳から18歳までの子どもを対象とした遠野市わらすっこ条例では、「子どもは希望であり宝」との理念を掲げております。

しかしながら、遠野のわらすっこの数ですが、条例が制定された平成21年から令和5年3月末時点で約1,700人の減少、出生数は令和4年度時点で250人の減少が見られ、ますます貴重な宝となっている遠野のわらすっこです。

ここで、現在行われている遠野市の子育て支援の中で、保護者の費用負担の軽減の支援に焦点を絞りお伺いします。

まず、就学児世帯への遠野市の子育て費用の負担支援は、現状どのようなものがありますでしょうか。

○議長（多田勉君） 多田市長。

〔市長多田一彦君登壇〕

○市長（多田一彦君） おはようございます。ただいま就学前の子育て支援について、現状どのようなものがあるかという御質問でした。

「子育てするなら遠野」をキャッチフレーズに掲げ、人生のライフサイクルに応じた子育て支援を展開していこうということでございます。

就学前の子育て支援については、保育所等利用に係る副食費無償化、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に行う出産・子育て応援ギフト、乳幼児等医療費給付等による子育て世帯の経済的負担軽減を図っています。

また、今年度から新たな取組として、岩手県の補助事業を活用して行う世帯第2子以降の保育料無償化及び世帯第2子以降の在宅育児支援金支給について、さきの6月議会において補正予算の議決を頂きました。

このような子育て世帯への直接的な経済的支援策と併せて、保育士の処遇改善や保育所等に対する運営費補助等の間接的な取組に就学前の子育て支援の充実を図ろうということでございます。

（「議長、議事進行」と呼ぶ者あり）

○議長（多田勉君） 議事進行、15番新田勝見議員。

〔15番新田勝見君登壇〕

○15番（新田勝見君） 今、本会議中ですが、6番小松議員が自席ではない席に座っている作業をしていますけれども、これは果たして許されるものなのかどうか。私は疑問に思いますけれども、議長の判断を仰ぎたいと思います。

○議長（多田勉君） ただいま新田勝見議員から議事進行かかりましたが、このことについては、事前に本人から申入れがございましたので、画面の操作の補助として携わるということでありましたので、議長としてこれを了としたところであります。了解しましたでしょうか。

○議長（多田勉君） 議事進行、新田勝見議員。

〔15番新田勝見君登壇〕

○15番（新田勝見君） それは、議長にはそういう申入れがあったという話でございますけれども、それは自席においてできないことなんでしょうか。自分の議席じゃないところに行って、そういう操作をするということ、私はあり得ないというふうに判断しますけれども、よろしくお願ひします。

○議長（多田勉君） 私も申入れを受けた際に、その点は確認が欠けておりました。小松議員に確認いたしますが、自席でその操作はできないんですか。小松議員。

〔6番小松正真君登壇〕

○6番（小松正真君） 事前に事務局とも確認をさせていただきました。議会議場の設備の関係で、ちょっと多分テレビを見ている方も分からないと思うんですけど、モニターが今私の目の前にあります。ケーブル等の関係で、自席ではなかなかそのケーブルの取り回し等が難しいということで、事前に事務局と確認をいたしまして、このような対応をしている。事前にそれを議長に説明したというこ

とになりますので御理解を頂きたいと思いま
す。

○議長（多田勉君） 15 番新田勝見議員。

〔15 番新田勝見君登壇〕

○15 番（新田勝見君） それは、議会運営
委員会を通して、またさらに全員協議会等へ
の、通知あるいは連絡、そういったものが
あってはじめて我々議員、そしてまた当局の
方々の御理解を得ながらやらなきゃならぬ
と私は思いますけれども、その点について伺
います。

○議長（多田勉君） ただいま新田勝見議員
から御指摘のありましたことについては、従
来の議会運営に当たっては、そのような姿勢
で臨まれてきたということに私も同感であり
ますが、近年のこの画面を使った質問、それ
らも全員協議会等でいろいろ議論をさせてい
ただいてまいりました。

そういった中で、今回そういう操作する
ということでありましたので、それを了とした
わけでありますが、今後のことについては再
度、議会運営委員会なり全員協議会の際に、
今回の 9 月定例会の反省論点として皆さんと
御議論をしてみたいというふうに思いま
す。これに御異議ありませんか。

（「了解」と発言する者あり）

○議長（多田勉君） それでは、質問を続け
させていただきます。7 番佐々木恵美子議員。

〔7 番佐々木恵美子君登壇〕

○7 番（佐々木恵美子君） 先ほどは、未就
学児世帯への市の支援の現状をお聞きしまし
た。

続いて、就学児世帯への遠野市の子育て費
用の負担支援について伺います。

現在、遠野市では、児童館、児童クラブの
利用費の負担も行っておりますが、現状、ど
の程度負担しているのでしょうか、お伺いま
す。

○議長（多田勉君） 多田市長。

〔市長多田一彦君登壇〕

○市長（多田一彦君） 就学児世帯の支援の

こと、あれは……。

（「費用を負担する」と呼ぶ者あり）

○市長（多田一彦君） 支援ですね。

○議長（多田勉君） 質問と、かみ合わない
ようですが。

○市長（多田一彦君） ちょっと待ってくだ
さいね。就学児世帯ということは、児童館と
か、そういう対象でよろしいですか。

はい、市では、小学校区全 11 か所に児童
館、児童クラブを設置し、放課後における児
童の居場所環境の充実を図っております。単
独施設である児童館は 7 か所、地区センター
または小学校の一部を活用した児童クラブは
4 か所あります。運営は、遠野市保育協会に
指定管理または業務委託によってお願いをし
ております。

児童館、児童クラブは、仕事等の理由に
よって昼間、家庭に保護者がいない児童の放
課後の居場所、これを提供するというだけで
放課後児童クラブでの学童保育の実施により、
子育て世帯の仕事と子育ての両立を支援する
ということ、児童の発達段階に応じた遊び
を通じ、基本的な生活習慣等の健全育成を図
ることを目的としています。最近では、英語
で遊ぼうという新たな企画も実施してありま
す。放課後児童クラブについて、利用料は全
施設無料であります。これは、県内 14 市で
遠野市だけです。

令和 4 年運営に係る費用として 1 億 1,741
万 6,000 円を支出しております。

○議長（多田勉君） 7 番佐々木恵美子議員。

〔7 番佐々木恵美子君登壇〕

○7 番（佐々木恵美子君） 現在、遠野市で
は、給食費の負担を行っております。この
17 年間、給食費の値上げは行われておりま
せん。現状どの程度の負担を行っているの
でしょうか、お伺いします。

○議長（多田勉君） 多田市長。

〔市長多田一彦君登壇〕

○市長（多田一彦君） そう言っていただけ
れば。

○議長（多田勉君） 質疑、応答がちょっとかみ合っていないので、しっかりとテレビを見ている市民も分かるように質疑応答をしていただきたいと思います。7番佐々木恵美子議員。

〔7番佐々木恵美子君登壇〕

○7番（佐々木恵美子君） 失礼しました。教育長に御質問いたします。給食費についての質問です。もう一度質問を繰り返します。

現在、遠野市では、給食費の負担を行っております。この17年間、給食費の値上げは行われておりません。現状どの程度の負担を行っているのでしょうか、お伺いします。

○議長（多田勉君） 佐々木教育長。

〔教育長佐々木一人君登壇〕

○教育長（佐々木一人君） それでは、学校給食費の子育て支援策の現状についてお答えをいたします。

学校給食費は、学校給食法第11条により、学校給食全体の経費のうち食材の購入分を保護者に負担をしていただくものとなっております。

本市においては、小中学生へ年間168食を提供しております。細かい数字になりますが、学校給食費の額は平成18年4月の改定から議員御指摘のように17年間据置きをしております。年間で小学生が4万2,840円、中学生が5万150円となっております。

令和5年度の予算では、食材費の総額が8,890万円で、そのうち子育て支援策として1,782万3,000円を市が負担しております。

内訳を申し上げますと、令和元年度から実施しております給食費の一部負担分が951万7,000円、昨今の物価高騰対応分が830万6,000円となっております。

食材費1人当たりの予算ですが、年額で小学生が5万2,700円、中学生が6万4,210円で、市の支援額は、小学生で年間9,860円、中学生で年間1万4,060円となっております。およそ2割を市のほうで負担をしているという状況でございます。

物価高騰の中ですが、市の子育て支援策と国の地方創生臨時交付金の活用によりまして、今後も子どもたちへ、安全で、安心で、おいしい給食を提供することができております。

以上、答弁いたします。

○議長（多田勉君） 7番佐々木恵美子議員。

〔7番佐々木恵美子君登壇〕

○7番（佐々木恵美子君） ただいま教育長からいただいた回答は、事前にこちらで調査したものと同様の内容でしたので、可視化したものをこちらで提示させていただきます。

サイネージのほうに資料をお願いいたします。

こちらに学校給食の総額をイメージできるように表にしてみました。保護者が負担する児童生徒1人当たりの給食費の値上げは、本日までされていません。金額は、先ほど教育長が述べたとおりであります。

平成18年度から平成30年までの給食費は、全額保護者負担でしたが、令和元年度から令和3年度は消費税や食材費の価格上昇分を遠野市が負担しております。

加えて令和4年度には、物価上昇があり、地方創生臨時交付金で負担しているということです。

令和5年度は、さらに物価上昇の影響から前年度の約倍額を地方創生臨時交付金から負担する予算となっております。

児童生徒の減少は、わずかにもかかわらず、物価上昇の影響で市の負担は増える傾向にあります。

私の想像では、児童生徒数が減少すると、経費も減るのではないかと、食材費も減るのではないかと想像していたのですが、この点が私の予測と違っていたところと感じております。

それでは、ここから市長にお伺いします。

先ほどまでの御答弁で、保護者の費用負担の軽減の遠野市の支援を確認しました。

就学前の子育て支援、就学後の児童館、放課後子どもたちの居場所づくりの費用など、また給食費の食材の2割負担など、市では

様々な費用負担を行っています。今後の子育て支援全体の行方を市長はどのようにお考えでしょうか、お伺いします。

○議長（多田勉君） 多田市長。

〔市長多田一彦君登壇〕

○市長（多田一彦君） 子育て支援全体の行方ということですか。

丁寧な分かりやすい図面を用意していただいております。学校給食全体から見ますと、水道光熱費とか、その他の経費が加わったものが全体的な学校給食費の運営費ということになるかと思っております。

生徒さん、これ本当に無償化というのが理想だと思います。子育て支援ということに関しては、こども家庭庁の方でもしっかりと力を入れていかなければいけない分野だと思いますので、将来的にはそういうふうな方向に行くはずだということに考えています。

ただ、遠野市としてということでございますので、若干、私の考え方をいれてお答えをさせていただきたいと思っております。

まず、遠野市では、遠野市全体の財政のシミュレーションが必要だろうと私は思います。

いろんなことをやってほしい、やりたい、これはもうもとよりでございます。完全無償化、子育て、教育に関しては、本当に徹底的にそういうふうにしていくということが目標であることは確かです。

その中で遠野市の財政はどうであろうかということをお考えなければいけない。そうすると大きな問題としては、水光熱費の中で上下水道、これがあります。上下水道を現在のまま放置すると 50 年間、遠野市はもたない。持続可能な遠野市という言葉からは、おおよそ遠ざかる。

このことや、これから必要なこと、例えば、遠野市の計画の中でウィメンズ・チャイルドクリニックというのがございます。では、これは一体どのような計画、予算計画で、計画に載せてあるのか。これのシミュレーションがないんです、実は。ですから載っているだけ

なんです。言ってみれば政策的な表現で終わっているというのが現実です。

では、実際どのようにしていけば、それらが維持できるのだろうか、産前産後ケアというものを厚くできるのだろうか。これ 9 月までに、マーケティングができます。年間幾ら必要だと、これも 1 つのシミュレーションです。

そうすると、いろいろ無償でやりたいんですけれども、順番をつけて、どういうふうにしますかということと一緒に考えなければいけないんです。

例えば、仮に、この学校給食費を無償化にしていくとすると 1 億必要になりますね。それから、仮に、ウィメンズ・チャイルドクリニック、産前産後ケアセンターを年間維持するのに 2 億円かかるとします。そしたら、全部やるには 3 億かかるわけです。施設を整えると、更にプラスで掛かるわけです。

私たちは、どういう順番で市民サービスをしていくかということをお考えのべきです。学校給食費、教育費の完全無償化ですか。ウィメンズ・チャイルドクリニック、産前産後ケアセンターをしっかりと準備することですか。

これと一緒に考えていただかなければなりません。

つまり、等分に若干の負担をしていただけるものに関しては、負担をお願いしなければいけないこともあるということをお知らせ申し上げます。これからその大事な局面に入っていきます。

遠野市の子育ての支援のシミュレーション。まず遠野市の財政バランスのシミュレーション、50 年持続できるかということ。しっかり持続できる体制にしなければいけないということ。そして、負担しなくてもいい、無駄なものに関しては整理をして、負担しないような体制、要するに出費しないということも収入と一緒にです。これを私は、最低でも 50 億円程度を見越して考えていかなければならないと思っています。

それをやります。その上でできることをやっていく。教育はけちるべきではない、子育てはけちるべきではないと私は思っています。

ですから、今回も放課後学習、それから、英語で遊ぼう、その他学力を上げるための取組や、子どもたちがグローバルに育っていくための環境づくり、これには皆さんの御理解を頂いて、しっかり予算をつけさせていただきました。つけるべきこと、やるべきこと、それと順番、これをしっかりみんなで考えていかなければいけないと考えております。

○議長（多田勉君） 7番佐々木恵美子議員。

〔7番佐々木恵美子君登壇〕

○7番（佐々木恵美子君） ただいまの市長の御答弁で、私がこれからお伺いしたいということも踏まえて答弁を頂いたかと思うのですが、質問をさせていただきます。

市の財政の見通しや国の動向、経済の状況などから、市がこれまでどおりの負担をし続けることに少しでも懸念されることがあれば、やはり見通しを立てる必要があると考えます。

昨日の同僚議員の質問に対して、高齢者福祉のシミュレーションをやりましたという市長の答弁でありました。効率的に見通しを立てるためにもシミュレーションは大事だと思います。

子育て支援についても早めにシミュレーションを行い、それを市民の皆様の開示して、急激な費用負担を危惧する保護者の不安軽減にも努めていただきたいと思います。

先ほどの答弁では、これは子育てだけではなく、市民サービスに係る部分もという答弁があったかと思えます。全体のシミュレーションがやっぱり大事だよということは、市長の答弁の中であったかと思えます。ですので、子育て支援のシミュレーション、これについて、いま一度市長の見解を伺います。

○議長（多田勉君） 多田市長。

〔市長多田一彦君登壇〕

○市長（多田一彦君） 必ずシミュレーショ

ンはなければいけないと思っています。先ほどの議員の質問、今後のことについてということでしたから、私にとって、それは今後のシミュレーションという理解をしております。

シミュレーションも大事ですけども、検証も大事ですね。そして、現状どのようになっているか。

例えば、今年度、子育て、教育に関する新たな事業もございます。その中で今年度の予算、これ多岐にわたりますので、大ざっぱな数字ですけども、0歳から18歳までの児童に関する予算総額、これ設備資金も含めて38億5,156万円となっています。予算全体の19%です。1人当たりで換算すると124万円です。これが現在、遠野市が予算化をしているものです。

これは、今年度また大分増えました。この財政のバランスをとりながら、そここのところを増やすという努力を財政のほうもかなり頑張ってくれたということです。

そして、シミュレーションということですけども、急激な負担があると困るので、という説明でしたね。急激な負担というものをどのように予測されるかということなんですけど、私はその急激な負担というものは予測していないです。

ですから、全体的な環境、その他、先ほど申し上げたように、しっかり進めていくための財政シミュレーション、そして、子育て支援のシミュレーション、それから各課題、上下水道のシミュレーションというふうに各シミュレーションをやりながら現在進めているところです。

先ほどの答えと重複すると思えますので、そのように答えさせていただこうかと思えます。

○議長（多田勉君） 7番佐々木恵美子議員。

〔7番佐々木恵美子君登壇〕

○7番（佐々木恵美子君） 急激な負担は求めないよという市長のお気持ちを確認しました。

子育て世代の方に、遠野市の子育て支援の効果について聞いてみましたところ、軽減されたと感じている一方で、物価高により子育ての必需品や暮らしの出費が増え、家計費を見直しているという声も聞きました。

ですので、市には急激な保護者の負担が増えないよう留意していただきたいと願い、私の一般質問を終わります。

○議長（多田勉君） これにて一般質問を終了いたします。

休会の議決

○議長（多田勉君） お諮りいたします。9月6日から8日及び11日から13日は、委員会審査のため休会いたしたいと思えます。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（多田勉君） 御異議なしと認めます。よって、9月6日から8日及び11日から13日は、休会することに決しました。

散 会

○議長（多田勉君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。御苦労さまでした。

午前10時33分 散会

